

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭60-185085

⑬ Int.Cl.<sup>4</sup>  
F 25 D 25/02

識別記号 庁内整理番号  
Z-7501-3L

⑭ 公開 昭和60年(1985)9月20日

審査請求 有 発明の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 冷蔵庫扉の食品収納棚

⑯ 特 願 昭60-16537

⑰ 出 願 昭56(1981)2月18日  
前実用新案出願日援用

⑱ 発 明 者 市 川 幸 延 国分寺市東恋ヶ窪1丁目280番地 株式会社日立製作所デザイン研究所内

⑲ 発 明 者 西 山 高 徳 国分寺市東恋ヶ窪1丁目280番地 株式会社日立製作所デザイン研究所内

⑳ 出 願 人 株式会社日立製作所 東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地

㉑ 代 理 人 弁理士 小川 勝男 外1名

明 細 書

発明の名称 冷蔵庫扉の食品収納棚

特許請求の範囲

冷蔵庫扉の内側に食品収納棚を設け、この棚の底面に開放部を設けた冷蔵庫扉の食品収納棚において、前記棚底面の一部を長手方向に摺動させて開放部を開閉させることを特徴とする冷蔵庫の食品収納棚。

発明の詳細な説明

〔発明の利用分野〕

本発明は冷蔵庫扉の食品収納棚の取扱性改良に関するものである。

〔発明の背景〕

一般に冷蔵庫扉の内側には収納棚が数段にわけて取付けられているが、小型食品の収納を対称にしているため、収納棚の容積が小さく、各収納棚の間隔も小さく設定されている。したがって小型食品の収納量が少ない時に大きな食品を収納しようとしても入らずスペースを有効に使用できない。

また、無理して収納しようとする小型食品の出し入れが不便であるなどの欠点を有していた。

〔発明の目的〕

本発明はこれら従来の欠点を除去したもので、小型食品は従来と同様に収納でき、かつ大型食品も有効に収納できるようにした食品収納棚を提供することを目的としたものである。

〔発明の概要〕

冷蔵庫扉の内側に食品収納棚を設け、この棚の底面に開放部を設けた冷蔵庫扉の食品収納棚において、前記棚底面の一部を長手方向に摺動させて開放部を開閉させたものである。

〔発明の実施例〕

以下本発明の一実施例を図面により説明する。図において、1は冷蔵庫扉で、その内側には収納棚2、3が取付けられている。収納棚2の底部は有底部4と底があげられた開放部5とからなっている。そして有底部4には複数個の摺動溝6、6が形成されている。7は複数個の櫛歯状底板8、8をもつ摺動板で、櫛歯状底板8、8が摺動溝6、

6をガイドにして収納棚2内を矢印A、B方向に摺動するように取付けられている。収納棚3は従来米の収納棚と同様に底部9を有しているが、前述の収納棚2と同様な構造にしてもよい。10は小型食品、11は大型食品を示している。

以上の構造であるから次のように使用する。先づ、小型食品のみを収納する場合には、第2図に示すように摺動板7を矢印A方向に摺動させて歯状底板8、8を開放部5に橋詰させれば収納棚2全体に小型食品10を収納することができる。また、小型食品10と大型食品11を収納する場合には第3図に示すように摺動板7を矢印B方向に摺動させて、歯状底板8、8を有底部4上に位置させれば、収納棚2の開放部5は開放されるから、ここから大型食品11を挿入して収納棚3上に載置する。小型食品10は摺動板7と収納棚3上に載置して収納する。更に第4図に示すように、摺動溝6の深さdを歯状底板8の厚みtよりも大きく設定すれば、収納棚2の有底部4に小型食品10を載置したまま摺動板7を摺動させる

ことができる。

〔発明の効果〕

以上説明したように本発明によれば、収納棚2に摺動溝6をもつ有底部4と開放部5を形成し、これに歯状底板8をもつ摺動板7を摺動自在に取付けたから、小型食品10ばかりでなく、必要に応じて大型食品11の収納を可能にし、収納棚のスペースを有効に使用することができる。しかも構造が簡単で価格が安く、取扱性が容易であるなど実用的効果は大きい。更に、摺動溝6の深さdを歯状底板8の厚みtよりも大きく設定したから有底部4に小型食品10を載置したまま摺動板7を摺動できるので切替えに便利である。

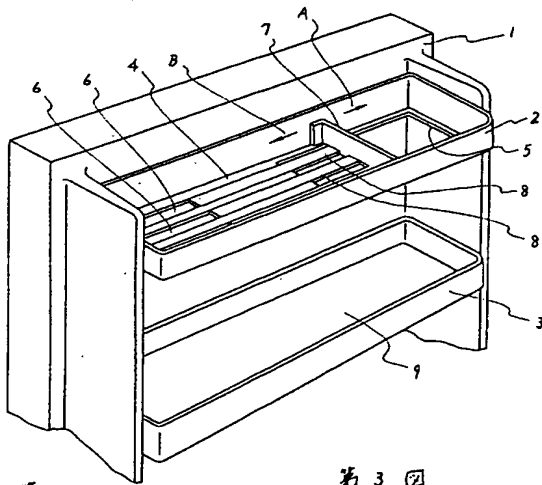
図面の簡単な説明

図は本発明冷蔵庫扉の一実施例を示し、第1図は斜視図、第2図、第3図はそれぞれ使用状態の異なる一部断面図、第4図は第3図のM-N線に沿う断面図である。

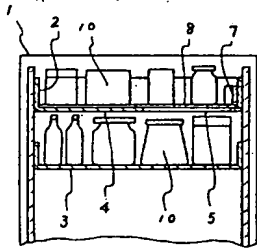
1…冷蔵庫扉、2、3…収納棚、4…有底部、5…開放部、6…摺動溝、7…摺動板、8…歯状

状底板、10…小型食品、11…大型食品。

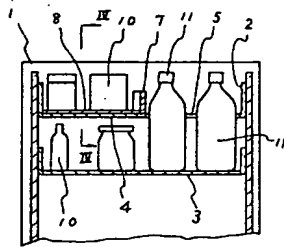
第 1 図



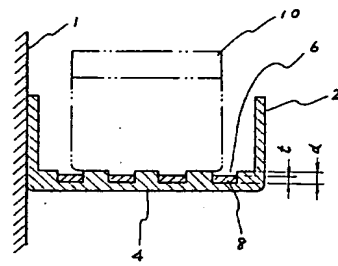
第 2 図



第 3 図



第 4 図





## FOOD HOUSING SHELF FOR REFRIGERATOR DOOR

Patent Number: JP60185085  
Publication date: 1985-09-20  
Inventor(s): ICHIKAWA YUKINOBU; NISHIYAMA TAKANORI  
Applicant(s): HITACHI LTD  
Requested Patent: JP60185085  
Application Number: JP19850016537 19850201  
Priority Number(s): JP19850016537 19850201  
IPC Classification: F25D25/02  
EC Classification:  
Equivalents:

## Abstract

Data supplied from the **esp@cenet** database - I2

DOCKET NO: ETPOIP14042

SERIAL NO: \_\_\_\_\_

APPLICANT: Becke et al.

LERNER AND GREENBERG P.A.

P.O. BOX 2480

HOLLYWOOD, FLORIDA 33022

TEL. (954) 925-1100